

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】令和 3 年 3 月 25 日 (2021.3.25)

【公表番号】特表 2020-520546 (P2020-520546A)

【公表日】令和 2 年 7 月 9 日 (2020.7.9)

【年通号数】公開・登録公報 2020-027

【出願番号】特願 2019-564023 (P2019-564023)

【国際特許分類】

H 0 5 B 47/00 (2020.01)

F 2 1 S 2/00 (2016.01)

A 6 1 M 21/02 (2006.01)

F 2 1 Y 115/10 (2016.01)

【F I】

H 0 5 B 37/02 L

H 0 5 B 37/02 H

F 2 1 S 2/00 6 1 0

A 6 1 M 21/02 H

F 2 1 Y 115:10

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 2 月 9 日 (2021.2.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

装置であって、

光源アセンブリと、

前記光源アセンブリに、

4 0 0 ナノメートル (nm) よりも大きいかまたは等しく、かつ、4 4 0 nm より小さいかまたは等しい 1 つ以上の第 1 の波長を有する第 1 の光を発することであって、前記第 1 の光の第 1 の強度は、第 1 の周波数で振動することと、

4 4 0 nm よりも大きい 1 つ以上の第 2 の波長を有する第 2 の光を発することであって、前記第 2 の光の第 2 の強度は、(i) 前記第 1 の周波数に等しい第 2 の周波数で振動し、かつ (i i) 前記第 1 の強度と位相を異にすることと、

を備える機能を実行させるように構成された制御システムと、
を備える、装置。

【請求項 2】

前記第 1 の光が、4 4 0 nm よりも大きい波長を全く含まない、請求項 1 に記載の装置

°

【請求項 3】

前記第 1 の光が、4 0 0 nm よりも小さい波長を全く含まない、請求項 1 に記載の装置

°

【請求項 4】

前記第 2 の光が、4 4 0 nm よりも小さい波長を全く含まない、請求項 1 に記載の装置

°

【請求項 5】

前記第 1 の光および前記第 2 の光が、等しいそれぞれのデューティサイクルを有する波形の形をとる、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 6】

前記第 1 の光および前記第 2 の光が、等しくないそれぞれのデューティサイクルを有する波形の形をとる、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 7】

前記第 1 の周波数および前記第 2 の周波数が、 0.03 Hz よりも大きいかまたは等しく、かつ、 50 Hz よりも小さいかまたは等しい、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 8】

前記装置が、前記第 1 の光および前記第 2 の光を介して対象者の概日リズムを調整するために構成された治療用ウェアラブル装置である、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 9】

前記第 1 の強度および前記第 2 の強度の合計が、時間に関して実質的に一定である、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 10】

時間にわたる前記第 1 の強度の第 1 の平均が、時間にわたる前記第 2 の強度の第 2 の平均よりも小さい、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 11】

方法であって、

照明装置によって、 400 nm よりも大きいかまたは等しく、かつ、 440 nm よりも小さいかまたは等しい 1 つ以上の第 1 の波長を有する第 1 の光を発することであって、前記第 1 の光の第 1 の強度は、第 1 の周波数で振動することと、

前記照明装置によって、 440 nm よりも大きい 1 つ以上の第 2 の波長を有する第 2 の光を発することであって、前記第 2 の光の第 2 の強度は、 (i) 前記第 1 の周波数に等しい第 2 の周波数で振動し、かつ (ii) 前記第 1 の強度と位相を異にすることと、を備える、方法。

【請求項 12】

前記第 1 の光が、 440 nm よりも大きい波長を全く含まない、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 13】

前記第 1 の光が、 400 nm よりも小さい波長を全く含まない、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 14】

前記第 2 の光が、 440 nm よりも小さい波長を全く含まない、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 15】

前記第 1 の光および前記第 2 の光が、等しいそれぞれのデューティサイクルを有する波形の形をとる、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 16】

前記第 1 の光および前記第 2 の光が、等しくないそれぞれのデューティサイクルを有する波形の形をとる、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 17】

前記第 1 の周波数および前記第 2 の周波数が、 0.03 Hz よりも大きいかまたは等しく、かつ、 50 Hz よりも小さいかまたは等しい、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 18】

前記第 1 の光および前記第 2 の光を発することが、対象者の概日リズムの調整を引き起こす、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 19】

前記第 1 の強度および前記第 2 の強度の合計が、時間に関して実質的に一定である、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 20】

時間にわたる前記第 1 の強度の第 1 の平均が、時間にわたる前記第 2 の強度の第 2 の平均よりも小さい、請求項 11 に記載の方法。